

第100期 報告書


2021年4月1日 ▶ 2022年3月31日



Heat in Heart

情熱で拓く。誠実で応える。



 昭和鉄工株式会社
Showa Manufacturing Co.,Ltd.



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループは2022年3月31日をもちまして、第100期を終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに決算の結果につきましてご報告申し上げます。

2022年6月

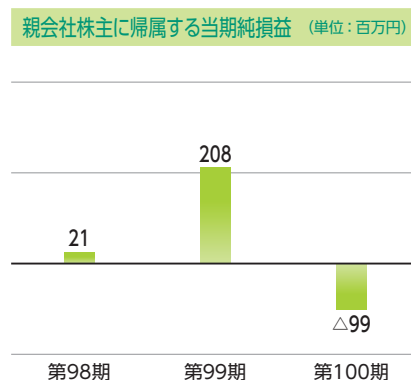
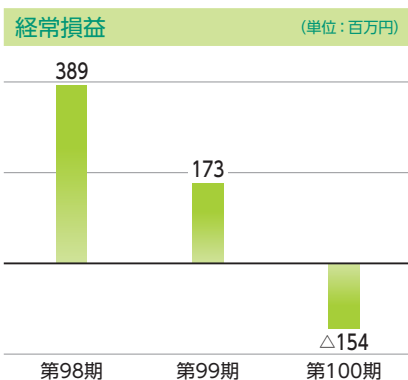
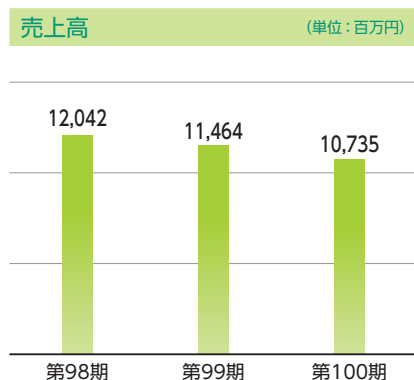
代表取締役社長 日野宏昭

中期経営計画「全社横断の改 さらなる収益基盤の確立と

Q 第100期の総括をお願いします。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の一部鈍化や原材料価格高騰の長期化が影響するなど、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような情勢の中で当社グループは、創業140周年を迎える2023年に向けて、2022年度を最終年度とする中期経営計画「全社横断の改革を実行し“140”へ向かおう！」の2年目の年として、2022年度に連結売上高140億円以上、連結売上高営業利益率5%以上の達成を目指し、重点課題である「全体最適化と人材育成



革を実行し「140」へ向かおう！」のもと、 構造改革に注力してまいります。

を加速させる体制づくり、「実践的な生産性改革の推進」及び「全社一丸での事業収益の拡大」に取り組んでまいりました。

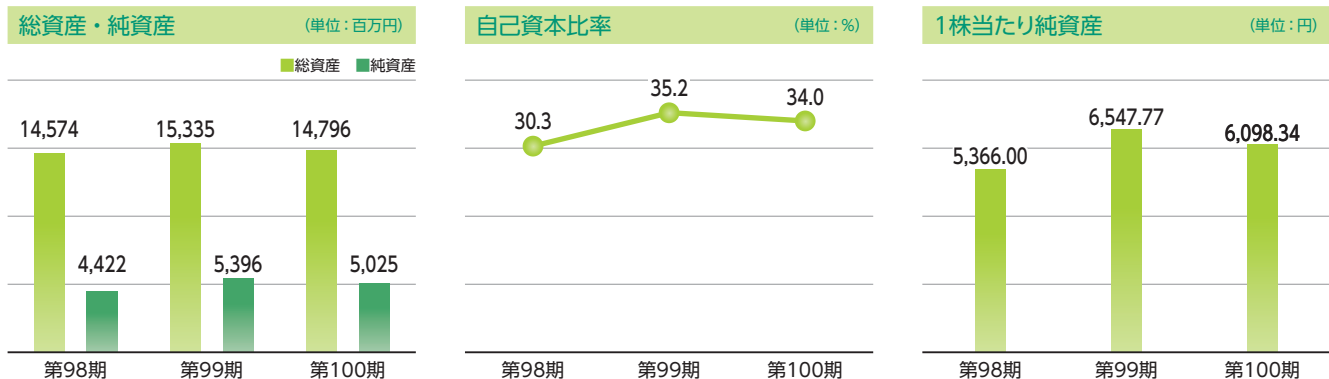
Q 第100期の業績についてお聞かせください。

当連結会計年度の当社グループの売上高は107億3千5百万円(前連結会計年度比6.4%減)、受注高につきましては118億9千万円(同比16.5%増)となりました。

損益面では、新型コロナウイルス感染症拡大による営業・サービス活動の一部制限に加え、原材料の価格上昇や調達遅延、顧客の工事延期等も影響し、経常

損失は1億5千4百万円(前連結会計年度は経常利益1億7千3百万円)となりました。

また、特別利益に投資有価証券売却益2億2千万円、特別損失に関係会社出資金売却損5千4百万円等を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純損失は9千9百万円(前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純利益2億8百万円)となりました。



Q 事業セグメント別の業績をお聞かせください。

■ 機器装置事業

機器装置事業につきましては、熱源機器は業務用エコキュートの売上が増加した一方で、半導体関連部品の調達遅延や顧客の工事延期の影響により、エアハンドリングユニット等の空調機器や空気清浄機等の環境機器の売上が低調に推移しました。また、熱処理炉等のサーモデバイス機器は受注案件の減少により売上が低調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は59億4千3百万円(前連結会計年度比7.7%減)、受注高は66億2千2百万円(同比24.9%増)となりました。

■ 素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、受注案件の減少により、精密鋳造品や景観製品の標準高欄を中心に売上が低調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は19億8千3百万円(前連結会計年度比16.1%減)、受注高は22億1百万円(同比0.9%増)となりました。

■ サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、コロナ禍での営業・サービス対面活動の回復により、取替工事や保守契約が好調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は28億8百万円(前連結会計年度比5.6%増)、受注高は30億6千5百万円(同比12.7%増)となりました。

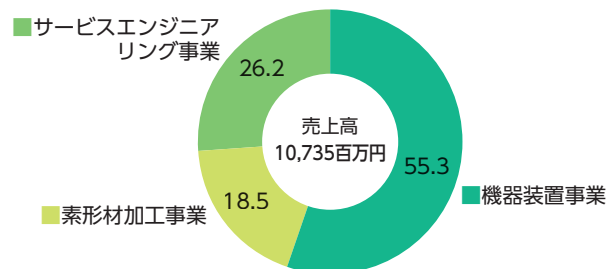
セグメント別の売上高・受注高

(単位：百万円)

	売上高	受注高
■ 機器装置事業	5,943	6,622
■ 素形材加工事業	1,983	2,201
■ サービスエンジニアリング事業	2,808	3,065
合計	10,735	11,890

セグメント別の売上高構成比

(単位：%)



Q 今後の見通しをお聞かせください。

今後の見通しにつきましては、わが国経済は新型コロナウイルス感染症の影響による活動制限の緩和に伴い雇用・所得環境の改善が期待される一方で、世界情勢の急激な変化やそれに伴う資源価格の上昇及び為替相場の動向により景気が下振れするリスクもあり、依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

Q 今年度の取り組みをお聞かせください。

2022年度は、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として安全衛生管理の徹底や健康への配慮を最優先に、営業・製造・サービス活動において刻々と変化する状況に迅速かつ適切に対応してまいります。

また、創業140周年を迎える2023年に向けた中期経営計画「**全社横断の改革を実行し“140”へ向かおう!**」の最終年度である2022年度は、前年度の地道な取り組み成果として積み上げた受注高に加え、営業・製造・サービス活動のさらなる生産性改善による収益基盤の確立と構造改革を進め、重点課題である「**全体最適化と人材育成を加速させる体制づくり**」、**「実践的な生産性改革の推進**」及び「**全社一丸での事業収益の拡大**」に取り組んでまいります。

Q 株主還元の考え方についてお聞かせください。

当社は、株主の皆様への安定的な配当の継続を最重要課題と位置づけており、加えて企業業績のほか、今後予想される競争激化に耐えうるための経営効率化、新製品開発に備えるための内部留保の充実を勘案し、配当を行うことを基本方針としております。

第100期の期末配当につきましては、業績の厳しい折ではありますが基本方針に基づき、1株につき50円とさせていただきます。

Q 最後に株主の皆様メッセージをお願いします。

新たな価値創造に向けて、人材育成やデジタル化による全体最適をさらに追求するとともに、これからも『**誠実を造り、誠実を売り、誠実をサービスする**』の社是のもと、全力をつくして業績の向上と安定した収益基盤の確立に邁進していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新製品

蒸気ボイラーへの給水予熱でCO₂排出量抑制に貢献！

「プレキュート」は、蒸気ボイラーの給水を効率よく予熱する（給水温度をあらかじめ上げておく）ことをコンセプトに、九州電力株式会社と共同開発した自然冷媒ヒートポンプ給水予熱機です。蒸気ボイラーの給水予熱に特化することで従来のエコキュートより導入コストを抑え、施工性に優れたコンパクトなシステム構成となっています。

もともと製造工程等に蒸気を必要とする食品工場などでは、熱源設備が蒸気ボイラーに一元化されている場合が多く、燃焼による環境負荷が大きくなっています。二酸化炭素の排出削減やカーボンニュートラルに向けた取り組みが強く求められる中、給水予熱の最適化により、蒸気ボイラーの負荷を低減し、消費エネルギーと二酸化炭素排出量の抑制を可能にしました。また、ヒートポンプ冷媒には自然冷媒である二酸化炭素を使用しており、環境にやさしい製品です。

今後も当社は、ヒートポンプ技術を深化させた製品のブラッシュアップや開発に取り組み、省エネや低・脱炭素社会の実現に貢献していきます。

蒸気ボイラー
の給水予熱に
特化！



自然冷媒ヒートポンプ給水予熱機

Precute

蒸気ボイラー専用 プレキュート

高COP
運転

最予
熱制
御

納入実績

「博多」と「天神」を結ぶ“かけはし”を目指して

福岡市の国道道路の旧春吉橋は架設から60年以上が経過し、治水安全度や耐震性等の向上のため、2013年度から架替事業が始動しました。

橋の架替においては、仮設の迂回路橋を設置し、旧橋の架替後に撤去する工程が一般的ですが、今回のプロジェクトでは架替後も迂回路橋を歩行者用の広場として存置することで、福岡市の中枢である「博多」と「天神」を結び賑わい空間を創出できるように福岡市・福岡県・国土交通省が一体となって進めています。

春吉橋の全体コンセプトは「九州一の歓楽街・中洲に繋がる橋として、大人の雰囲気漂う風格のあるデザイン」でした。春吉橋が架かる那珂川の下流側に位置する「福博であい橋」をはじめ、「中洲懸橋」、「西中島橋」、「須崎橋」等の著名橋への当社鋳鉄製品の納入実績が決め手となり、コンセプトに相応しいとして鋳鉄製デザイン高欄の採用が決まりました。橋名の文字はタレントの「タモリさん」こと森田一義さんが揮毫され、当社の技術で忠実に再現しています。

春吉橋は当社の過去から現在までの高品質なものづくりが継承されて形になった実績といえます。今後も災害に強く景観にも優れたまちづくりに貢献していきます。

橋 名： 春吉橋(はるよしばし)

施 工 地： 福岡県 福岡市

景観監修： 福岡大学景観まちづくり研究室

設 計： 中央コンサルタンツ株式会社

施 工： 株式会社横河NSエンジニアリング(高欄工)

アスミオ、株式会社(親柱・横断防止柵工)



連結貸借対照表

科目	当期 2022年3月31日現在	前期 2021年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	8,467	8,468
現金及び預金	2,888	2,981
受取手形及び売掛金	—	3,066
受取手形	703	—
売掛金	1,789	—
契約資産	327	—
電子記録債権	982	962
商品及び製品	125	125
仕掛品	1,169	936
原材料及び貯蔵品	405	304
その他	77	93
貸倒引当金	△3	△3
固定資産	6,328	6,867
有形固定資産	3,515	3,285
建物及び構築物	1,031	1,038
機械装置及び運搬具	606	531
土地	1,584	1,584
リース資産	247	69
その他	46	61
無形固定資産	87	97
投資その他の資産	2,725	3,484
投資有価証券	2,679	3,133
繰延税金資産	1	2
その他	74	380
貸倒引当金	△30	△32
① 資産合計	14,796	15,335

① 総資産

前期末に比べ5億3千8百万円減少し、147億9千6百万円となりました。主な要因は、棚卸資産(商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品)3億3千4百万円が増加した一方で、投資有価証券4億5千3百万円、投資その他の資産のその他3億6百万円が減少したものです。

② 負債

前期末に比べ1億6千8百万円減少し、97億7千万円となりました。主な要因は、退職給付に係る負債1億6千4百万円が減少したものです。

③ 純資産

前期末に比べ3億7千万円減少し、50億2千5百万円となりました。主な要因は、利益剰余金1億5千8百万円、その他有価証券評価差額金2億2千1百万円が減少したものです。

科目	当期 2022年3月31日現在	前期 2021年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	6,887	7,213
支払手形及び買掛金	923	2,214
電子記録債務	1,956	326
短期借入金	3,050	3,400
未払費用	437	458
未払法人税等	35	40
設備関係支払手形	54	209
契約負債	46	—
リース債務	44	19
その他	338	545
固定負債	2,883	2,725
長期借入金	525	300
退職給付に係る負債	1,573	1,737
繰延税金負債	262	319
リース債務	210	55
その他	312	312
② 負債合計	9,770	9,938
(純資産の部)		
株主資本	4,327	4,486
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,226	1,226
利益剰余金	1,591	1,749
自己株式	△130	△130
その他の包括利益累計額	697	909
その他有価証券評価差額金	846	1,067
為替換算調整勘定	—	45
退職給付に係る調整累計額	△148	△203
③ 純資産合計	5,025	5,396
負債及び純資産合計	14,796	15,335

連結損益計算書

科目	当期 自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日	前期 自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日
4 売上高	10,735	11,464
売上原価	8,494	9,006
売上総利益	2,240	2,458
販売費及び一般管理費	2,428	2,411
5 営業損益	△187	46
営業外収益	159	203
営業外費用	126	76
5 経常損益	△154	173
特別利益	220	59
特別損失	55	25
税金等調整前当期純利益	10	208
法人税、住民税及び事業税	52	30
法人税等調整額	57	△30
当期純損益	△99	208
5 親会社株主に帰属する当期純損益	△99	208

4 売上高

創業140周年を迎える2023年に向けて、2022年度を最終年度とする中期経営計画「全社横断の改革を実行し“140”へ向かおう!」の2年目の年として、2022年度に連結売上高140億円以上、連結売上高営業利益率5%以上の達成を目指し、重点課題である「全体最適化と人材育成を加速させる体制づくり」、「実践的な生産性改革の推進」及び「全社一丸での事業収益の拡大」に取り組んでまいりました。その結果、当期における当社グループの売上高は107億3千5百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

5 営業損益・経常損益・親会社株主に帰属する当期純損益

新型コロナウイルス感染症拡大による営業・サービス活動の一部制限に加え、原材料の価格上昇や調達遅延、顧客の工事延期等も影響し、営業損失は1億8千7百万円（前年同期は営業利益4千6百万円）、経常損失は1億5千4百万円（前年同期は経常利益1億7千3百万円）となりました。また、特別利益に投資有価証券売却益2億2千万円、特別損失に関係会社出資金売却損5千4百万円等を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純損失は9千9百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益2億8百万円）となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当期 自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日	前期 自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日
6 営業活動によるキャッシュ・フロー	134	302
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18	△132
財務活動によるキャッシュ・フロー	△209	△96
現金及び現金同等物の増減額	△92	73
現金及び現金同等物の期首残高	2,907	2,833
現金及び現金同等物の期末残高	2,814	2,907

6 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、獲得した資金は1億3千4百万円（前年同期は3億2百万円の獲得）となりました。主な要因は、仕入債務の増加額3億7千1百万円による増加と、棚卸資産の増加額2億8千2百万円による減少です。

会社概要

商号	昭和鉄工株式会社 Showa Manufacturing Co.,Ltd.
本社所在地	福岡県糟屋郡宇美町大字宇美3351番地8
創業	1883年10月2日
設立	1933年4月30日
資本金	16億4,100万円
従業員数	374名(連結377名)
主な事業内容	ファンコイルユニット・エアハンドリングユニット等の空調機器、業務用エコキュート・ボイラー・ヒーター・バーナー・オユシ等の熱源機器、循環温浴器・空気清浄機等の環境機器、液晶パネル製造用熱処理炉等のサーモデバイス機器、橋梁用防護柵等の景観製品、鋳造品等の製造販売のほか、空調機器、熱源機器等の一部販売・メンテナンス・取替工事及び給排水衛生設備等の設計・監理・施工の請負
主な事業所	
東京支社	神奈川県川崎市川崎区中島二丁目2番7号
工場	宇美工場(福岡県糟屋郡)、古賀工場(福岡県古賀市)、札幌工場(北海道石狩市)
支店	東京(川崎市)、大阪、九州(福岡県糟屋郡)
営業所	札幌(北海道石狩市)、仙台、北関東(さいたま市)、名古屋、広島、下関、南九州(熊本市)、鹿児島
関係会社	昭和トータルサービス株式会社

役員

(2022年6月28日現在)

取締役・監査役

代表取締役	日野 宏昭
取締役	井上 敏
取締役	尾島 孝則
取締役	執行 貴洋
取締役	村瀬 廣記
取締役	松尾 利浩
監査役(常勤)	伊達 正治
監査役	吉田 泰彦
監査役	本田 隆茂

執行役員

社長CEO	日野 宏昭
常務執行役員	井上 敏
上級執行役員	尾島 孝則
上級執行役員	執行 貴洋
執行役員	名和 正之
執行役員	森 克郎

株式の状況

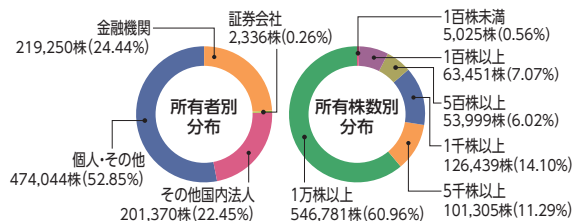
発行可能株式総数	2,400,000株
発行済株式の総数	897,000株
株主数	794名

大株主

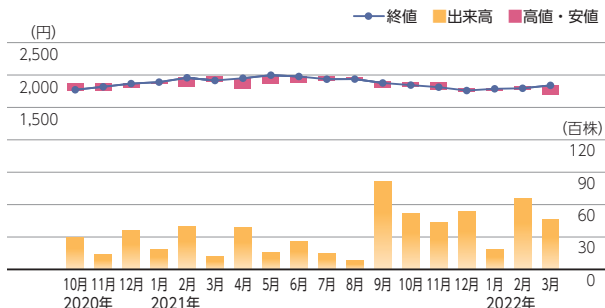
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社福岡銀行	38,650	4.68
株式会社西日本シティ銀行	38,500	4.67
株式会社北九州銀行	35,750	4.33
西部ガスホールディングス株式会社	34,500	4.18
西日本鉄道株式会社	29,100	3.53
飯田久泰	26,700	3.23
飯田卓子	26,061	3.16
飯田吉宣	23,588	2.86
稲田好美	19,813	2.40
日本乾溜工業株式会社	19,700	2.39

(注)持株比率は、自己株式(72,882株)を控除して計算しております。

株式分布状況



株価の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の基準日 毎年3月31日 剰余金の配当の基準日 毎年3月31日 中間配当の基準日 毎年9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (お問合せ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告によります。 https://www.showa.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
単元株式数	100株

株主様へのご案内

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払い配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

ホームページのご案内

<https://www.showa.co.jp/>


●トップ画面



当社ホームページでは、IR情報をはじめ豊富なインフォメーションを掲載しています。どうぞご利用ください。

●IR情報トップ画面



 昭和鉄工株式会社

〒811-2101 福岡県糟屋郡宇美町大字宇美3351番地8
TEL 092-933-6390 (代表)

UD
FONT



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用し、環境に優しい植物油インキで印刷しています。